

## 第 62 回和歌山周産期医学研究会プログラム

\* 日時：令和 8 年 2 月 7 日(土曜)午後 2 時～4 時 30 分

\* 会場：和歌山県立医科大学附属病院 臨床講堂 1 (附属病院棟 4 階)

〒641-0012 和歌山市紀三井寺 811-1 TEL.073-447-2300

\* 参加費：2000 円 (会員の方は無料)

### 【演者の方へ】

・ Windows 11 の PC を 1 台こちらで準備します。

・ 2 月 6 日 (金) 午前中までに発表スライドファイル(PowerPoint)を事務局へ e-mail して下さることをお勧めします。

(10MB 以上は添付できませんのでご注意ください)

☆ 当日に USB メモリーで発表ファイルを持参される場合は、必ず会が始まる 10 分前までに事前にこちらの PC にファイルコピーを済ませて下さい。

※ 動画を用いる場合、新しいバージョンの PowerPoint で作成した場合、独自のフォント等をお使いの方はご自分の PC を持参して下さい。

- オープニング：和歌山県におけるベイフォータス使用の現状について

和歌山県立医科大学 総合周産期母子医療センター NICU 利光 充彦

### ◆ 第 1 部 14:10 - 15:15 一般演題：口演 7 分、討論 3 分

➤ 座長：和歌山県立医科大学 総合周産期母子医療センター NICU 平山 健太郎

1. 紀南病院 NICU で高インスリン性低血糖に対してジアゾキサイドを導入した 3 例

● 紀南病院 小児科 大星 瑳希子

2. 妊娠初期に不規則抗体陰性だったが新生児溶血性疾患を呈した 2 例

● 和歌山県立医科大学 総合周産期母子医療センター産婦人科 山下 勝智

3. 新生児遷延性肺高血圧症を呈した 3p21. 31 微細欠失症候群の一例

● 日本赤十字和歌山医療センター 小児科 宮崎 紗矢香

4. MSSA による絨毛膜羊膜炎で胎児炎症反応症候群となった双胎妊娠の一例

● 和歌山県立医科大学 産婦人科 (現 ひだか病院 産婦人科) 鱸 暢彦

5. MSSA による絨毛膜羊膜炎を伴って出生した在胎 34 週双胎児の一例

● 和歌山県立医科大学 総合周産期母子医療センター NICU 川本 大樹

6. 2024 年和歌山県周産期調査結果

● 和歌山県立医科大学 総合周産期母子医療センター NICU 利光 充彦

### ◆ 第 2 部 15:30 - 16:30 特別講演

➤ 座長：和歌山県立医科大学 総合周産期母子医療センター NICU 利光 充彦

➤ 特別講演 「RS ウイルス感染症からすべての赤ちゃんを守る

～臨床経験とガイドラインから読み解くこれからの展望～」

大阪母子医療センター 新生児科副部長 (兼) 周産期・小児感染症科主任部長  
(兼) 感染管理室長

野崎昌俊 先生

事務局：和歌山県立医科大学総合周産期母子医療センター

TEL 073-441-0633 FAX 073-444-9055

〒641-0012 和歌山市紀三井寺 811-1

[shonika@wakayama-med.ac.jp](mailto:shonika@wakayama-med.ac.jp)

共催：アストラゼネカ株式会社・和歌山周産期医学研究会

日本産科婦人科学会の領域講習の対象となります。日本産科婦人科学会の先生方は QR コードをご準備下さい。

また、産科婦人科医会の先生方も医会用の QR コードをご準備下さい